

広報

はちおうじの教育

4.15

2015(平成27年)
No.82

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばたけ未来へ～

学びの成果をつなげて



～生涯学習社会の実現をめざして～

小中一貫校として6年目の春を迎える加住小中学校では、学校・家庭・地域がともに、子どもたちの学びの基礎を育んでいます。今号では、子どもたちや市民の皆さんが生涯を通して学び、その成果を活かすことができる社会をめざし策定した3つの計画を紹介しています。

ひとりで悩まないで!

保護者の皆さん

総合教育相談 ☎664-6949

小中学生の皆さん

子ども電話相談 ☎664-3665

毎週月曜日～金曜日(祝・休日を除く)
午前8時30分～午後5時

24時間
受付

東京都いじめ相談ホットライン

☎03-5331-8288

全国統一ダイヤル

☎0570-0-78310

※PHS、IP電話の場合は、東京都の相談機関の電話番号にかけてください。 なやみ言おう

メロディーが聞こえたら
子どもたちの見守りにご協力を

子どもたちの下校を見守るきっかけづくりとして、松任谷由美さんの「守ってあげたい」を午後2時に防災行政無線で放送しています。

4月1日 中核市 八王子市 誕生



▲想像を広げながら読むこと的能力を身に付ける

義務教育段階では、生涯にわたる学習の基礎となる「生きる力」を育成することが大切です。「確かな学力」「豊かな心」「健康な体力」の三者のバランスに加え、これらを支える「食」を柱に、一人ひとりを大切にする教育を行います。

また、保育園や幼稚園などの就学前の保育・教育から、義務教育9年間を見通した継続性・連続性のある教育活動により、子どもたちの円滑な学校生活のスタートと学校卒業後の社会生活とのつながりを意識した教育を進めていきます。

学びの基礎を育む

ビジョン はちおうじの教育 を策定

子どもたちが夢をもって未来に向かってはばたいていけるように

本市教育委員会は子どもたちの「多様で変化の激しい社会を『生き抜く力』を生涯にわたって育てていくために、今後10年間を通じてめざす教育の姿を掲げ、平成27年度から31年度までの5年間に取り組む施策を示した、

「ビジョン はちおうじの教育」は、市役所7階学校教育政策課などで閲覧できるほか、市のホームページでもご覧いただけます。



第2次八王子市教育振興基本計画「ビジョン はちおうじの教育」を策定しました。

問い合わせは学校教育政策課(☎620・7403、☎ 627・8811)へ。



▲投影した資料をもとに学習の成果を発表

子どもたちの学習への意欲を高めるには、教員一人ひとりの資質や能力を向上させ、質の高い授業を行うことが必要です。中核市への移行にともない、教員の研修をより発展したものとし、子どもたちの学力や体力の向上、心の教育を充実させていきます。

また、情報化が進むなかで、プロジェクトや書画カメラなどのコンピュータ機器を活用した学校ICT(情報通信技術)環境の整備を推進し、学習環境を充実させ、子どもたちの学びを支えていきます。

学びの意欲を支える

1. はちおうじっ子の「生きる力」の育成

今後10年間を通じてめざす施策展開の方向

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健康なからだ・体力の育成
- 一人一人のニーズに応じた教育の推進
- 円滑で継続性・連続性のある教育の推進

2. 学校の教育力向上

今後10年間を通じてめざす施策展開の方向

- 教員の資質・能力の向上
- 学校の自主性・自律性の確立
- 地域の力を活かした学校づくり
- 学びを支える環境づくり

今後10年間を通じてめざす4つの教育の姿

3. 家庭、地域の教育力向上支援

今後10年間を通じてめざす施策展開の方向

- 家庭の教育力を支援するしくみづくり
- 地域の力を高める学校づくり

4. 学びが豊かな心を育む生涯学習の推進

今後10年間を通じてめざす施策展開の方向

- 市民がつながる生涯学習の推進
- 「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめる環境づくり
- 誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション
- 郷土八王子の理解を深める文化の保存・継承



▲親子一緒に楽しめるこども科学館での工作教室

4～6ページでは「八王子市生涯学習プラン」「第3次読書のまち八王子推進計画」について紹介しています。

「生きる力」を育成するためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしつつ、学校を核として社会総がかりで取り組む教育の実現が不可欠です。地域社会を構成する一人ひとりが、主体的・自主的に子どもたちの学びにかかわり、支えていくなかで、大人とともに学び合い、成長を遂げていくことをめざしていきます。

また、子どもたちの「生きる力」の基礎となる家庭教育は、保護者が子どもに行う教育のことで、基本的な生活習慣、自立心など家庭において培っていくことが大切です。家庭の教育力をさらに高めるために、さまざまな支援を行います。

家庭での学びを高める

子どもたちが健やかに育ち、豊かな人生を歩むために、学校・家庭・地域がともに手を携え、多様な学習機会を提供しながら子どもの成長を支えつつ、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりを進めます。また、誰もがさまざまな学習や読書、文化・芸術活動、スポーツ・レクリエーションなどを通して自己を高め、豊かなつながりを育むことのできる生涯学習を推進していきます。

さらに、文化・歴史・伝統の学びを通して、誰もが八王子に誇りと愛着を感じられるよう、八王子の歴史と伝統文化を次世代へ継承していきます。

生涯の学びを豊かに



▲子どもの頃からスポーツに親しんで

2 誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくり

誰もが、いつでも、どこでも生涯にわたり学ぶことができるよう、読書やスポーツ・レクリエーションをはじめ、多様な学習の機会を図書館や生涯学習センターなどのさまざまな場所で提供します。講座やイベントを実施する際には、市民がもっている知識と経験が活かされるよう、市は人とひと、団体と団体を結びつける役割を果たしていきます。



▲身近な場所でさまざまな講座を実施

身近で多様な学習機会の提供

読書のまち八王子の推進

八王子の特色を活かした文化芸術の振興

生涯スポーツ・レクリエーションの推進

高齢者の生きがいづくり

共同参画・共生社会の実現

3 学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進

生涯学習を通じて得た知識や経験が社会や地域で活かされ、人とひととの交流が新たな学び・生きがいをもたらすという学習成果の循環をめざします。ボランティア・指導者の育成やイベントの実施を通じて市民のネットワークづくりを支援します。

人材の育成と活躍の場の提供

学びの成果を活かす機会の充実

市民との協働による地域の活性化



▲ステージで日ごろの学習成果を発表

4 生涯学習環境の充実



▲市民が気軽にスポーツを楽しめる総合体育館

生涯学習活動を始めたい方や学習をより深めたい方に対し、講座やサークル活動、ボランティア参加などの情報を分かりやすく提供するとともに、相談体制を拡充させます。また、学校やスポーツ施設など市の公共施設を積極的に提供するとともに、大学や企業などと連携し、学習の場がさらに広がるよう、生涯学習環境の充実を図ります。

生涯学習情報の収集と発信

相談体制の拡充

施設の有効活用と開放



八王子市生涯学習プラン

市民・地域とともに
高めあう 学びのまち

～みんなが まなぶ いかす つながる～

本市では、一人ひとりが豊かで充実した人生を送るために、誰もが生涯のあらゆる機会にどこでも学ぶことができ、その成果が活かされる「生涯学習のまち八王子」をめざし、平成27年度から31年度までの5年間に取り組む施策を示して、新たな生涯学習プランを策定しました。問い合わせは生涯学習政策課(☎620・7334、☎626・8554)へ。



「八王子市生涯学習プラン」は、市役所7階生涯学習政策課などで閲覧できるほか、市のホームページでもご覧になれます。

1 子どもの頃から始める学びの基礎づくり

子どもたちが健やかに育ち、豊かな人生を歩むための基礎づくりとして、学びと体験の機会を提供します。また、家庭での教育を支援し、地域や市民団体、NPO法人、学校、企業などと連携・協働して、地域全体で子どもの学習・体験活動を充実させていきます。

生きる力を育む子どもの学びと体験の充実

家庭教育の支援

学校教育活動の支援

地域の教育力を活かす・高める



▲植物や虫を観察する自然体験学習



▲市長、教育長をかこんで(3月16日の表彰式典にて)

教育委員会表彰

149名19団体の活躍を表彰

平成27年3月16・17・26日に「市教育委員会表彰式典」を市役所本庁舎で開催しました。市教育委員会表彰は社会的に評価される活動や優れた能力、努力をたたえ、周囲の模範として広く知らせるとともに、市民のスポーツの振興、ボランティアの奨励を目的としています。

対象者は、スポーツや芸術文化、ボランティア活動など、さまざまな分野で活躍した児童・生徒や市民の方と、小

中学校の9年間を1日も休まずに出席した生徒です。
式典では、ヨーヨーの世界チャンピオン、テコンドーや馬術競技のジュニアオリンピックで優勝した選手、全国規模の絵画コンクール、創作話話コンクール入賞者など、多種多彩な分野で活躍した子どもたちや、義務教育皆出席の生徒、長年ボランティアとして、市の教育活動を支えている方々を表彰しました。
今後本市から、さまざまな舞台で活躍される方が誕生することを期待します。平成26年度の表彰者の学校名や氏名、表彰内容など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

表彰者一覧

区分	児童・生徒	一般
体育	62名 7団体	4名 2団体
文化	8名 3団体	
ボランティアなど	13名	34名 7団体
義務教育皆出席	28名	

問い合わせ 教育総務課(☎6207329、☎6277881)へ

知っておきたい八王子の歴史

戦争犠牲者をまつる富士森公園

桜の名所である「富士森公園」。体育館や陸上競技場、野球場など、スポーツを楽しむことができる公園としても知られていますが、この公園に戦没者もまつられていることをご存知でしょうか。
近代国家への道を歩み始めた明治時代。初めての対外戦争である日清戦争により、多くの命が奪われ、八王子でも76名もの尊い命が失われました。この戦争による犠牲者を慰霊するため、南多摩郡の郡長を中心に招魂碑の建設が進められ、明治29年4月、富士

森の地に「報国忠魂碑」が建てられました。さらに、日露戦争では、214名の方が犠牲となったため、新たな忠魂碑も建てられ、富士森公園は戦争犠牲者の招魂の地になっていきました。
こうした戦争による犠牲者を出しながらもわが国は、ついにアメリカとの戦争に突入。敗戦の色が濃くなった昭和20年8月2日未明、八王子を襲った大空襲は、市民約450人もの尊い命を奪うものでした。その後市は、明治以降に戦争犠牲者となった方々を弔おうと昭和40年に慰霊塔を富士森公園内に建設。平成22年度までは、この慰霊塔の前で追悼式を執り行っていました。

現在、追悼式は毎年4月に八王子駅南口のオリンピックパスホールで行われています。花見やスポーツをするために富士森公園を訪れた際には、公園内に建つ慰霊塔に立ち寄り、戦争の悲惨さを胸に刻み、平和について改めて考えてみてはいかがでしょうか。



▲絵葉書で紹介された明治時代の富士森公園

問い合わせ 郷土資料館(☎62228939、☎62275091)へ

いつでも、どこでも、だれでも、読書に親しめるまちをめざして

～第3次読書のまち八王子推進計画を策定～

子どもたちや市民の皆さんが生涯にわたって読書に親しめる環境づくりをめざし、平成27年度から31年度までの5年間にわたる方針と取り組みを定めた「第3次読書のまち八王子推進計画」では、5つの取り組みを柱に推進していきます。



- ▶ 市民の皆さんの生涯にわたる読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめる環境の整備をめざします。
- ▶ 本市の子ども一人ひとりへの働きかけを中心に、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう読書環境の整備を図ります。

1 読書に親しめる環境づくり

市民の皆さんが身近にある地区図書室や市内大学図書館、近隣市の図書館などを利用しやすい環境づくりに努めます。また、市立小・中学校で本を利用した授業支援などを行う、学校図書館サポートセンターを置き、小・中学校における読書環境の充実を図ります。

2 家庭・地域・学校でも楽しく読書を

乳幼児には「ブックスタート」事業を、児童・生徒には夏休みに体験学習を実施するなど、さまざまな事業を展開していきます。



▲絵本をひらく時間の楽しさを体験

3 読書活動にかかわる人を応援

市民の皆さんが学習する際に生じる課題の解決に対応できるよう、図書館職員のスキルアップを図ります。また、保護者や教員など子どもにとって身近な大人が、子どもの読書活動に積極的に取り組めるよう研修や講座を行い、ボランティア団体や大学生との市民協働の充実を図り、読書活動にかかわる人々の活躍を推進するための支援・連携を図ります。



4 ICTを使って読書を身近に

電子書籍の導入や貴重な郷土資料の電子化、子どもや若者に読書に関心をもってもらえるようホームページを充実するなど、ICT(情報通信技術)機器を利用したサービスの充実を図ります。

5 だれでもが無理なく読書ができるように

特別な支援を必要とする人でも読書に親しめるよう、高齢者施設への出張図書館、障害のある方への宅配サービスや対面朗読、手話のおはなし会を開催するなど、読書環境の整備に努めます。
また、日本語の理解が困難な外国人向けに、英・中・韓国語など、多言語によるホームページでの図書館の案内や資料の収集を進めます。



▲ボランティアによる絵本の読み聞かせ

「第3次読書のまち八王子推進計画」は、各図書館などで閲覧できるほか、市のホームページでもご覧になれます。



問い合わせ 中央図書館(☎664・4321、☎662・2789)へ



教育委員会の動き

教育委員の就任など

平成17年10月1日から教育委員長として長きにわたりご活躍された小田原榮教育委員長が平成27年3月31日をもって退任し、新たな教育委員として輿水かおり氏が4月1日に就任しました。また、同日、坂倉仁氏が教育長に任命されました。



▶坂倉仁教育長

このたび、3期目の教育長を拝命いたしました。新たな教育委員会制度と中核市八王子市の教育長として、その責任の重さに身の引き締まる思いがいたします。また、市長と教育委員会が教育施策の協議・調整を行う「総合教育会議」が始まります。これまで以上に市長と連携して子どもたちを育んでいきたいと考えております。

さらに、八王子市教育委員会は、今後10年間を見据えた計画として「ビジョンはちおうじの教育」を平成27年2月に策定しました。「子どもたちが夢をもって未来に向かってはばきたいいけるように、『多様で変化の激しい社会を、生き抜く力』を生涯にわたって育んでいくこと」を基本理念とし、その実現をめざしてまいります。八王子の教育を任せられる者として、全身全霊で取り組んでいきたいと思っております。

新教育委員あいつつ



▶輿水かおり(しみず) 新教育委員

4月1日に八王子市は「中核市」としてのスタートを切りました。教育委員会では、第2次計画「ビジョンはちおうじの教育」を策定し、八王子のこれからを市の内外に向けて示していくことが求められている年にあたります。そのような折に教育委員を拝命し、背筋が伸びる思いです。八王子の教育の充実に、公立幼・小・中学校の現場での経験や、教員を養成する中で感じていることなどを生かしていきたいと考えております。

先行き不確かな時代を切りひらくには、一人ひとりが主体的に考え行動する力の育成、チームとしての学校力の向上、学校・家庭・地域の協働性の強化など、課題は山積しています。子どもたちの明日に夢を紡ぐような活動ができればと願っております。

教育委員会制度の改正

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成27年4月1日をもって施行されたことにより、教育委員会制度が新しく生まれ変わりました。概要は次のとおりです。詳しくは教育総務課へ。

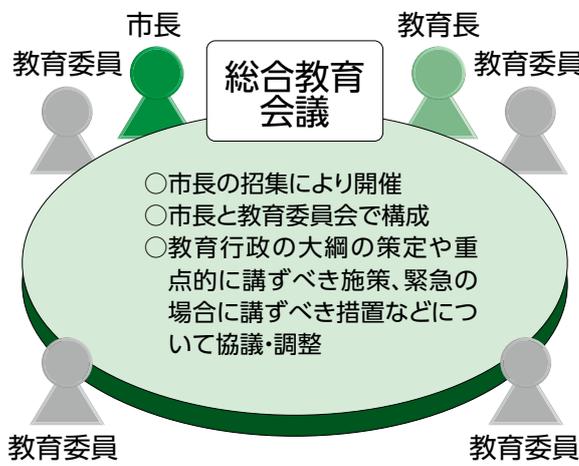
- 1 教育行政の責任の明確化
▼教育委員長と教育長を一本化した新

たな責任者（新教育長）を置く

2 国の地方公共団体への関与の見直し

▼いじめによる自殺の防止など、児童・生徒などの生命または身体への被害の拡大または発生を防止する緊急の必要がある場合に、文部科学大臣が教育委員会に対して指示ができることを明確化

3 総合教育会議の設置



総合教育会議を開催します

4月22日(水)午後1時から第1回総合教育会議を開催します。会場など、詳しくは総合教育会議事務局（総合経営部経営計画第二課内 ☎620・7306、☎627・5939）へ。

教育委員会会議を開催

平成27年1月から3月まで定例会を5回開催しました。主な内容をお知らせします。なお、定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。また、定例会は公開しています。定例会の傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。

【議案】

- 平成27年度学校運営協議会を設置する学校の指定について
- 八王子市指定文化財の指定の諮問について

【報告】

- 八王子市の児童・生徒の体力の状況について

今後の定例会開催日程(予定)

日時	会場
4月22日(水) 午前9時～	市役所議会議棟 4階第3・4 委員会室
5月20日(水) 午前9時～	市役所本庁舎 で開催
6月3日(水) 午前9時～	
7月8日(水) 午前9時～	

問い合わせ 教育総務課 ☎620・7323、☎627・8811へ

次号(83号)は平成27年7月15日に発行する予定です。

